

本セミナーは、ナノ、サブマイクロ、マイクロの粒径領域により構成され、粒径、数、化学組成、光学特性など様々な内容をカバーします。参加者の皆様が、各粒径領域での特徴的な計測ニーズや、サンプリングから分析に至るまで様々な工夫を横断的に理解することを通じて、計測についての新しいアイデアを得たりニーズを開拓されることを期待しております。

本セミナーは、いわゆる教室スタイルで話を聞くという形式ではなく、参加者全員が自由に意見を交換できる場にしたいと思います。上記内容に加えて、計測のトレーサビリティやエアロゾル状放射性物質などについても議論の場を設ける予定です。この機会を、新たな共同研究テーマの発掘や製品開発などにもご活用頂ければ幸いです。

挨拶: 竹川暢之 [東京大学 先端科学技術研究センター]
話題提供: 大気エアロゾル観測と計量のトレーサビリティ
飯田健次郎 [産業技術総合研究所]

基調講演: ナノメートル粒径域における計測について
奥山喜久夫 [広島大学大学院]
話題提供: 工業ナノ材料の作業環境評価のための計測について
小倉勇 [産業技術総合研究所]

3
基調講演: 気象学に於けるミクロンサイズ粒子の計測
村上正隆 [気象研究所]
話題提供: 光ピンセットを用いたエアロゾル液滴の物理化学特性の計測
石坂昌司 [広島大学大学院理学研究科]
話題提供: 放射性エアロゾルの粒径情報の重要性
山田裕司 [放射線医学総合研究所]

基調講演: 微小粒子の粒径、化学組成の計測と応用
高見昭憲 [国立環境研究所]
話題提供: 微小粒子状物質(PM2.5)自動計測器
戸矢崎保雄 [紀本電子工業]

粒径軸 →

1 nm

10 nm

100 nm

1 μm

10 μm

100 μm

